

井県は11年3月に加盟している。福井県の里山保全一は 2007年に米国の総

シンポジウム「ニソの杜」が日本に問いかけるもの」が6月3日午後1時半から、小浜市文化会館で開かれる。文化人類学者の中沢新一さんや作家の高橋源一郎さん、タレントのいとうせいこうさんらが、おおい町大島半島に残る祖霊信仰の習俗を通じて、森と人とのかかわりや地球環境などを考える。

「ニソの杜」信仰探る

大島半島は再稼働問題で揺れる関西電力大飯原発3、4号機が立地する一方、民俗学の聖地ともされている。

ニソの杜は、大島半島を開拓した24家の先祖をまつる小さな森。シイやタブノキなどの照葉樹林が目印で、小さな祠がある例や樹林だけのものなど32カ所が確認されている。毎年11月23日に祭祀があることから「23(ニソ)」「と呼ばれるようにな

来月3日、小浜でシンポ

った。2010年には国の選択無形民俗文化財に指定された。シンポ参加者の一人で美浜町在住の民俗学者、金田久璋さんは「東日本大震災でふるさとを失った人が多い中、ニソの杜を通じて祖先やふるさとについて考えてみたい」と話している。入場料500円。問い合わせは実行委の淵上さん(090・3517・0873)。(山田理恵)



「ニソの杜」の一つ。こもりと照葉樹が茂る

巨木の根元に祠があるニソの杜もある。いずれもおおい町大島

再稼働問題取材に「あ」

おおい町議会の新谷欣也議長は、25日に開かれた全員協議会で、関西電力大飯原発3、4号機の再稼働をめぐる取材対応で不真面目な発言をしたことを謝罪し、事実上の辞意を表明した。発言は朝日放送が16日夕方の再稼働問題の特集番組で放送し、インターネットで動画も配信された。町議会事務局などに町内外から抗議の電話が相次いだという。

新谷議長は、再稼働問題を審議した12日の全協の開始が予定より15分遅れた理由を報道陣に問われ、「おなか痛くてトイレに行っていた」と笑いながら説明。

TV放映・ネット配信…抗議殺到

「全協が終わった感想をひと言」と求められると、マイクに向けて「あ」とだけ声を発した。内容が番組とインターネットで配信された直後から、町議会事務局や各町議宅に全国各地から抗議や批判の電話が寄せられたという。

新谷議長は「議会の看板を汚し、町民に疑念と怒りを抱かせたことを深く反省する」と謝罪。今後、時間忍町長が再稼働の可否を判断した時点で「出処進退を決める」と述べ、事実上の辞意を明らかにした。全協では「出処進退は本人が決めること」と厳しい意見が大勢を占めた。(堀川敬部)

仰向け消防署員

「モンキー渡り」

訓練の成果披露

県内の消防署員らが救助技術を競う「県消防救助技術大会」が25日、福井市大畑町の県消防学校で開かれた。県内全9消防本部から232人が参加し、ロープを渡ったり、15メートルの高さ7メートルほどの空中に渡したロープを往復する「ロープブリッジ救出」では、署員たちはまず、安全器具



「モンキー渡り」でロープを素早く伝う消防署員たち—福井市大畑町

などを指さして確認。仰向けにぶら下がって進む「モンキー渡り」で素早く渡った。成績優秀者は8月に東京である全国大会に出場する。(高橋玲央)

110・119

◆鯖江の繊維加工工場で火災

24日午後10時45分ごろ、鯖江市神中町2丁目の繊維加工メーカー「ウラセ」第2工場付近から火災発生。従業員約100人が避難した。火災原因は不明だが、消防は約1時間かけて火を消した。被害は約1億5千万円に上ると見られる。